

## 「凡例」

### 用語の選定

1. 採用基準は、日本泌尿器科学会の後期研修医レベルを対象とした。
2. 手術術式は保険請求に使用する術式名に可及的に統一した。
3. 日本医学会医学用語辞典第3版にならい見出し語は同義語を併記せずに単一とした。その他事項も日本医学会の凡例に従った；(例)「重複」の読みは「じゅうふく」、「蔭酸」はすべて「シュウ酸」。

### 構成と配列

1. 本用語集は英和編、和英編、略語編の3部構成とした。
2. 人名の読みは、基本的に英語読みとした。
3. ラテン語であっても英語として使用されているものは見出し語とした。
4. 見出し語で数字、その他の記号ではじまる場合はこれがないものとして配列した。
5. ギリシャ文字は英語のスペリングに直して配列した。

### 用語委員会での特記検討事項

1. elective, imperative surgery に関して：indication (適応) の意を含むと考え、以下のごとく意識した。
  - ・elective partial nephrectomy→選択的(相対的) 適応腎部分切除
  - ・imperative partial nephrectomy→不可避的(絶対的) 適応腎部分切除術
2. palliative に関する考察：決して「死を待機するもの」でもなく、患者の「苦痛を緩和するためのもの」がよりマッチする。姑息的という訳は不相当とした。  
palliative→症状緩和のための
3. insignificant cancer→臨床的意義の少ない癌として、「非臨床癌」としたいが latent 癌と混同される可能性があり、「待機可能癌」を和訳候補とした。
  - ・insignificant cancer→臨床的意義の少ない癌、待機可能な癌
4. 尿中のカルシウムなど正常より多い排泄量の場合は原則として「過」を使用した。血液の場合は濃度であるので「高」をもっぱら使用した。
5. flow rate: flow (流) に時間の概念を含む量であることから「率」は不要とした。  
flow rate→尿流量
6. dominant, recessive の和訳は、日本医学会用語委員会で討議中であるため今回は保留とした。

\*日本医師会による医学用語辞典：英和第3版のWEB版を日本医師会のHPで閲覧する場合(<http://jams.med.or.jp/dic/mdic.html>)、認証は[hinyokika]でIDもパスワードも同じです。